

社会資本整備総合計画 事後評価 (野田村)

令和2年11月

計画の名称	野田村における安全で快適な生活を支えるみちづくり・まちづくり						
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付対象	野田村				
計画の目標	村民の暮らしに直結する道路の整備を行うことにより、快適で安全な地域社会の実現を図る。						
計画の成果目標（定量的指標）	快適で安全・安心な地域社会を形成する基盤づくり ・道路の機能を保全するために対策が必要な箇所の整備率						
定量的指標の定義及び算定式	・道路改良 当該計画路線の計画期間内での整備率 $\text{当該計画路線の5年間の整備率} = (\text{整備済路線延長} / \text{計画路線延長}) \times 100$ $\text{※}30\text{km/h} \rightarrow 40\text{km/h} \quad \text{整備済延長は、}0.52\text{km} \quad (\text{H27:}0.35\text{km、H28:}0.9\text{km、H29:}0.9\text{km、H30:}0.06\text{km、H31:}0.11\text{km})$ $\text{測量+工事} \quad \text{測量} \quad \text{測量} \quad \text{工事} \quad \text{工事}$ 要対策と対策済箇所により算出するものであり、その算定式は、（整備済路線延長/計画路線延長）×100（%）とする。整備計画延長は2.15kmである。（大葛日形井線1.8km+中平上明内線0.35km）		定量的指標の現況値及び目標値				
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	備考			
	0	33	100				
	16	19	24				
全体事業費	合計 (A+B+C)	245百万円 61百万円	A 61百万円	B 0百万円	C 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0% 0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	令和2年11月
本事業を所管する地域整備課で数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、評価を実施した。	公表の方法
	野田村ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

A 基礎事業（道路事業）											上段：計画					下段：実施	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
A01-001	道路	一般	野田村	直接	野田村	市町村道	改築	大葛日形井線	現道拡幅 L=1.8km 現道拡幅 L=0.17km(工)	野田村						230	
A01-002	道路	一般	野田村	直接	野田村	市町村道	改築	中平上明内線	側溝設置 L=0.35km 側溝設置 L=0.35km(工)	野田村						15	46
																	15
											合計					245	61

B 関連社会資本整備事業											上段：計画					下段：実施	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業											上段：計画					下段：実施	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		・1級村道大葛日形井線の現道拡幅を実施した結果、実幅員の拡幅となり、歩行者の安全と車両の円滑な走行の確保が図られた。 ・2級村道中平上明内線の側溝修繕を実施した結果、実幅員の拡幅となり、歩行者の安全と車両の円滑な走行の確保が図られた。								
II 定量的指標の達成状況	指標（計画整備路線の整備率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	・社総交の配分額が要望額を下回ったため、差が出たものである。					
		最終実績値	24%							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）										

3. 特記事項										
・平成31年度までは野田村単独パッケージだが、令和2年度より岩手県パッケージへ移行となる。										

(参考図面)

計画の名称	野田村における安全で快適な生活を支えるみちづくり・まちづくり	
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)	交付対象 野田村

	整備前	整備後
		
A01-001 : 大葛日形井線	<p>蓋掛け側溝に修繕され、実幅員の拡幅となり、歩行者の安全と車両の円滑な走行の確保が図ら</p> 	<p>現道拡幅</p> 
A01-002 : 中平上明内線	<p>蓋掛け側溝に修繕され、実幅員の拡幅となり、歩行者の安全と車両の円滑な走行の確保が図ら</p> 	<p>現道拡幅</p> 
A01-001 : 大葛日形井線	<p>蓋掛け側溝に修繕され、実幅員の拡幅となり、歩行者の安全と車両の円滑な走行の確保が図ら</p> 	<p>現道拡幅</p> 